働く暮らす 好きになる

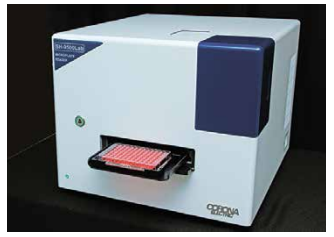
ひたちなかを

Vol.18

日本の産業を支える市内中小企業でいきいきと働く人たちを紹介します。

光計測技術で社会に貢献

R&D部 製造グループ
栗原（くりはら） 涼輔（りょうすけ）さん（22）
水戸市在住、出身
茨城東高校卒業、令和元年入社



▲医療・食品・バイオ等の分野で活躍するマイクロプレートリーダ

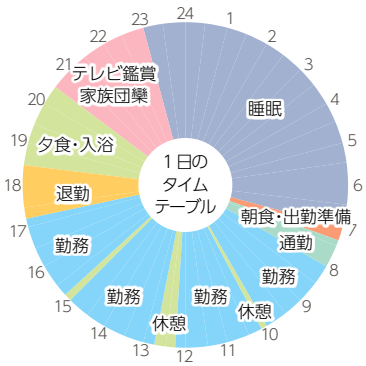
病気の診断や健康食品の機能性評価、DNA測定など幅広い分野で使用される計測機器「マイクロプレートリーダ」や、半導体業界向け電気電子機器の設計・製造を手がけるコロナ電気株式会社。今年8月に創業70周年を迎える老舗企業のコロナ電気は、高い技術力で戦後の高度経済成長に大きく寄与しました。

「自分が組み立てた製品が、社会の役に立っていると思うと嬉しい」と話すのは、入社3年目の栗原涼輔さん。幼少期から「ミニ四駆」を作るのが好きで、手先の器用さを活かせたらと製造業を志しました。入社以来、血液分析装置など医療機器の製造を担当し、細かなパーツを手作業で組み立てています。「緻密な作業なので神経を使うが、無事納品できたときは達成感を感じる」と話す栗原さん。「職場の雰囲気は和気あいあいとしていて、先輩からのサポートも厚い。ものづくりが好きな方におすすめです！」と笑顔で語りました。

地域の経済成長を力強く牽引

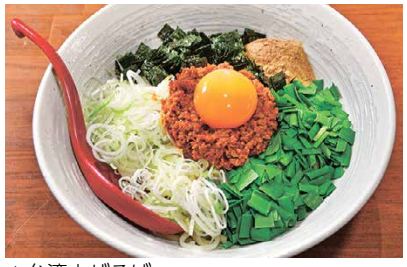
平成29年、経済産業省による「地域未来牽引企業」に選定されたコロナ電気。地域経済の成長の核として、さらなる飛躍を期待されています。社名の由来となった「コロナ」とは、太陽の外側に広がる高温の大気のこと。これからも、時代に合わせた柔軟性と積み上げてきた技術力で、地域をそして世界を明るく照らしていきます。

▲コロナ電気社屋。2020年度グッドデザイン賞受賞



体を動かすことが好きで、子どもの頃からサッカーを続けてきました。今は、家で筋トレをするのが日課です。ダンベルを使ったトレーニングは、左右5回ずつ10セット。汗をかいて仕事の疲れをリフレッシュできます。

市内でおすすめのスポットは、麺屋むじゃきグループの「二代目むじゃき」。兄に連れて行ってもらったのがきっかけで、台湾まぜそばにハマり月1くらいで通っています。ボリュームがあっておいしいですよ。



▲台湾まぜそば

二代目むじゃき

場所：田彦1393-1　定休日：木曜日

取材協力企業
コロナ電気㈱
東石川3517
☎273-6111

代表者：代表取締役　柳生 修
創業年：1952年8月（昭和27年）
資本金：4,109万円
売上高：26億7,000万円（令和3年7月期）
従業員数（男/女）：96人（70人／26人）
平均年齢：44.5歳
月平均残業時間：約22.8時間
R4年採用：新卒：0人/それ以外：1人
初任給：15万円～21万円
勤務時間：8:10～17:10
有給休暇の平均取得日数：15.2日/年
育児休業取得：男1人、女1人（R1～3年度）